

『一宮町史研究』創刊号

一宮町の歴史・自然に関する最新の研究成果や
一般投稿された随想などが掲載された一冊。

2025 年 4 月～

発売!

《内 容》(著者名敬称略) 計 166 ページ

- 【巻頭カラーページ】 ・加納久宜肖像 ・サンコウチョウ(メス)
【発行にあたって】 ・一宮町長 馬淵昌也 ・一宮町教育委員会教育長 竹之内達生
・一宮町史編さん委員会委員長 吉田正人
【巻頭随想】 加納久昭(加納家当主) 「一宮と加納家」
芥川耿子(エッセイスト) 「二つの碑」
【講演録】 吉田正人(筑波大学名誉教授) 令和6年度一宮町史編さん講座「一宮町の自然」
【論文】 宮間純一(中央大学文学部教授) 「一宮藩の戊辰戦争」
【研究ノート】 江澤一樹(町教育委員会学芸員) 「関和知と斎藤家
—「旧斎藤家文書」所収関和知書簡から—」
【研究余録】 滝川恒昭(敬愛大学経済学部特任教授) 「東上総における市の開設」
【資料紹介】 中村政弘(四街道市教育委員会市史編さん主任)
「一宮町地域のアジア・太平洋戦争期の新聞記事」
【歴史随想】 外山信司(千葉市立郷土博物館総括主任研究員)「歴史学者佐藤堅司のみた加納知事」
樋口慶伍(一般投稿) 「千葉県長生郡一宮町にある玉前神社」
土屋治雄(一般投稿) 「東浪見海岸のウミガメ 一産卵跡と子亀」
- 考古・自然編**
【論文】 吉田正人(筑波大学名誉教授)
「一宮町軍荼利山、洞庭湖周辺における
サンコウチョウ(*Terpsiphone atrocaudata*)の観察記録」
【研究ノート】 小賀野大一(千葉県野生生物研究会)
「一宮町の海岸線に近い平野部にあったトウキョウサンショウウオの生息地」
橋本勝雄(千葉県文化財保護協会評議員)
「一宮町東浪見遍照寺裏出土の旧石器時代資料とその意義」
【調査研究】 岡山亮子(千葉県教育委員会)
「上智大学所蔵の一宮町関係考古資料の再整理事業について—収蔵資料の概要—」

1 冊 1,000 円

一宮町中央公民館窓口
(長生郡一宮町一宮 2460)
にて販売中(平日 8:30~17:00 のみ)
郵送販売実施中(HP 参照)

◎問合せ先

一宮町教育委員会
〒299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮 2461
TEL 0475-42-1416(平日のみ)
メール syakai@town.ichinomiya.chiba.jp